



# 原点 に立って、 未来 へステップ

## ■今月の強調目標

LT

2015-2016 年度  
東日本区理事通信

第 10 号

2016年 4月5日発行

## 理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

**桜**の開花を待っていたかのように、待望の今年度初めてのクラブチャーターが目前となりました。

5年前の東日本大震災から北東部の皆様、そして全国のワイズ・YMCAの皆様の支援で石巻地域の奉仕活動に共鳴していただき、4月2日(土)に石巻広域ワイズメンズクラブが設立され、東日本区61番目のクラブとしてワイズメンズクラブ国際協会に加盟認証手続きを行っています。

21名のチャーターメンバーには、震災でご家族を失ったメンバーもいます。逆境の中でクラブを築きあげられました石巻広域ワイズのメンバーから心の元気と命の大切さを学ばせていただきました。5月28日(土)に予定されていますチャーターナイトには大勢のワイズで歓迎したいと思います。よろしくお祈りします。

さて、今月はLT(リーダーシップ・トレーニング)月間です。東日本区にはLT委員会があり、委員会の目的は「会員のリーダーシップの開発・向上を図る」とあります。

リーダーは方向を示す人でなければならない。そして

リーダーは理想・夢を熱く語れる人でありたい。ガッツこそ、あらゆる条件に先立つリーダーの真髄であると書かれています。

またリーダーは私心がないこと、組織の事より自分の都合が先立つような人はリーダーたり得ない。リーダーは集団のために損な役割を引き受けられる人でなければならない。リーダーにはマネージメント能力や先見性など幾つもの能力が求められるが、リーダーが絶対に持っていなければならない資質は真剣で誠実であるということ。できることから一歩ずつ、クラブのため、地域社会のためにリーダーシップが取れるワイズを目指しましょう。

4月25日は世界マラリアデーです。クラブ・部でのイベントや広報活動によってマラリアに対する意識の高揚を図り、RBM(ロールバックマラリア)運動を積極的に進めていただきたいと思います。

4月9日(土)・10日(日)には第三回東日本区役員会が開催されます。いよいよ今年度の成果を確認する時期になりました。6月4日～5日の東日本区大会での各部、各事業の報告をご期待ください。

## 強調 目標

### 4月の強調テーマはLTです!

LT委員長 伊藤幾夫(東京コスモス)



ご承知のように、LTとはリーダーシップ・トレーニング(Leadership Training)の略です。「ワイズマンである」こと自体がリーダーシップ・トレーニングといわれています。それは、入会式の際に誓約した5つの事柄にも表わされていますし、4つの「I(アイ)」(Idealism:理想を持つこと、Interest:興味を持つこと、Initiative:率先して、Industry:労をいとわぬこと)としても表現されています。言葉を代えてまとめると、「理想、興味を持ち、自ら提案者となり、労をいと

わず、前向きに行動すること」と表現してもよいでしょう。4月がLTの強調月であることは、とくにこの時期は、3月の次期クラブ会長・部役員研修会を終えて、各クラブ・部において、次期に向けての準備が行われ、ワイズメンのリーダーシップがことさら期待される時でもあるからです。

4月、5月は各部で次期部役員研修会が計画されているようです。「部の活性化」のためにLT委員会も応援させていただきたいと思っています。LT資料の請求、講師派遣などニーズがありましたら区事務所までご連絡下さい。いよいよあなたの出番です!



ワイズ  
にひかれ善光寺



## ▼東日本区大会への登録を!

東日本区大会の登録締切は、4月15日(金)となっております。3月末での登録者数は約200名です。目標の450名には、まだまだです。どうぞお仲間をお誘いの上、ご登録をお願い致します。

案内当初の郵便トラブルに打ちひしがれましたが、

やっと平常心になりました。皆様ご懸念のホテル事情は、ご心配不要です。晚餐会会場の「メルパルク NAGANO」に希望が集中しましたが、徒歩5～10分以内に充分あります。

さて、メインプログラムの「長野プレゼンツ ワイズにひかれ善光寺」は、善光寺の天台声明、絵解きなど、皆さん初めてのプログラムを準備しました。どうぞ楽しみにして下さい。

大会ウェブサイト <http://www.kntbc.jp/ys-east19/>

(大会実行委員長:森本俊子)



## 次期クラブ会長・部役員研修会報告

LT委員長 伊藤幾夫(東京コスモス)

3月5日(土)・6日(日)次期クラブ会長・部役員研修会が日本YMCA同盟青少年研修センター東山荘(御殿場)で1泊2日にわたり行われました(当日は東山荘本館2階ロビーで、NHK朝ドラ「あさが来た」の主人公モデル広岡浅子展も開催されており、一般客でにぎわっていました)。

次期を担うリーダー(とくに会長、部役員)が学びと交流の場をもちました。1日目の基調講演は「これからのワイズ、YMCAにとってのワイズ」と題して、元アジア太平洋地域YMCA同盟総主事山田公平さん(現在は宇都宮クラブ)から、ご自身のYMCA総主事及びワイズである立場から、経験したこと感じたこと、これから何をなすべきかなどたいへん示唆に富んだお話しを伺うことができました。とくに強調されたのは、①YMCAが変化

しようとしている、ワイズも変化が求められている。

②ユースの意識をつかむ、そしてワイズに取り込むことです。

参加者総数は105名でした。この内、次期クラブ会長は39名、次期部役員は29名でした。出席率に直すと、次期クラブ会長は65%(39/60クラブ)、次期部役員は59%(29/49=7部×7名)でした。今期も次期も理事が「部の活性化」を強調しています。そのような中で、次期部役員の出席率が低いのが気になります。ともに、ワイズの現状を認識し、改善に向けて智恵を出し合ひましょう。

2日目の聖日礼拝献金46,601円は震災復興支援に捧げました。また東山荘100年募金(缶バッジ購入)45,860円は東山荘に贈呈しました。2日間にわたり、参加者のみなさんは熱心に研修を受けていらっしゃいました。この研修から次期の準備が始まりました。今回の学びをクラブの活動、部の活動に活かしてください。

## 国際交流

事業通信

国際・交流事業主任

柳澤 岳(松本)

今年度の各種献金へのご協力ありがとうございました。3月31日現在の暫定的な献金額をお知らせいたします。

多くのクラブのご協力に心より感謝申し上げます。

◎ B F:1,379,209円(内BF使用済み切手24,839円)

◎ TOF:1,038,480円

◎ RBM:671,725円

◎ YES:615,343円

### ▼4月25日は「世界マラリアデー」です。

マラリア根絶にRBMのご協力を戴いておりますが、マラリアを取り巻くキーワードや数字を挙げてみたいと思います。

〈ハマダラカ〉マラリア原虫を持っているハマダラカは夕暮れから朝に吸血します。殺虫蚊帳が効果的です。

〈2億人〉世界人口の約半数にマラリアのリスクがあります。全世界で年間約2億人がマラリアに罹っています。

〈58万人の死者〉年間58万人がマラリアで無くなっており、その多くがアフリカの子供たちです。

〈3大死因〉マラリアは子供の世界3大死因の一つです。1分に一人の子供の命を奪っています。「1兆2000億円」の経済損失になっています。尊い未来の芽を奪ってしまい、途上国たらしめる要因とも言えます。

〈予防治療が可能〉マラリアは予防・治療が可能な疾患です。マラリアで失っている命は我々の手で救える命です。

〈100円〉でひとりの子供の命を救うことができます。抗マラリア薬代です。残念ながら現地ではニセモノも出回っております。

〈800円〉800円で一張り。殺虫蚊帳の配布は予防の決め手です。

〈6300万円〉過去5年間の総額でワイズメンズクラブが全世界で目標としてきた金額です。(蚊帳65,000張り分になります)



## 茨城クラブ10周年記念例会

関東東部会員増強事業主査

金丸 満雄(東京ひがし)

3月26日(土)、茨城クラブ10周年記念例会が、つくば国際会議場小会議室において行われました。13時15分片山会長の開会点鐘で記念例会が開会されました。加藤久幸牧師(水海道教会)による記念礼拝が行われ、利根川恵子次期東日本区理事の祝辞、金子和雄つくば市議員の挨拶で第1部記念例会が終了しました。第2部懇親会は、オールディーズのコンサート、茨城クラブの10年間のスライドショー、そしてお楽しみ抽選会などで和やかに行われ、茨城クラブのますますの

発展を祈念し10周年記念例会は終了しました。

出席者は、関東東部より7クラブからの出席とゲスト合わせ32名でした。





## 石巻に“花が咲く” 石巻広域ワイズ設立総会開催

宮城県第二の都市である石巻市において、「石巻広域ワイズメンズクラブ」の設立総会が4月2日(土)開催されました。東日本大震災を契機に立ち上げられた、「YMCA石巻支援センター」が拠点となり、全国からのボランティアの受入れの中で、地元仙台3ワイズとの協働から、新クラブ設立の気運が高まりました。

2014年2月の勉強会を皮切りに、5回にわたる交流会、2015年2月からは設立準備委員会とし、11月からは準備例会を重ねて来ました。

設立総会は、石巻グランドホテルを会場に、21名のチャーターメンバーを含む67名の出席で、厳粛かつ温

かい雰囲気の中進められました。初代会長には平井孝次郎さんが就任します。

総会後の祝会で、渡辺理事から、スポンサークラブへ東日本区YES資金の贈呈がありました。

なお、チャーターナイトは5月28日(土)を予定しています。(報告:東日本区書記・仙洞田安宏)



## ユース事業主任 事業通信 浅羽 俊一郎(東京山手)

### 「Yよ、もっと若者に目を向けよ」

最近気になることのひとつがYMCAに集う人々が世代的に二分化していることです。どこのYMCAも幼児・小学生を対象とするプログラムは盛んな一方、昔からのYMCA会員は高齢化しています。その間の10代半ばから50代までの男女について見てみると、悲しい程少ない。ユースは確かにいますが、ほぼボランティアリーダーとYMCAの学生で、言うなればYMCAの提供するプログラムに来ている若者で、卒業とともにYを去る。ワイズメンズクラブのように自主活動をする若者のグループはほとんどない。

会社でも管理職から新入社員まで世代に切れ目があると、人事政策上困ることになる。Yは職員サイドは切れ目がないが、会員サイドにぼっかり世代の穴が空いて

いるのです。

ではどうしたら若者にYへ戻ってきてもらえるでしょうか。ヒントは活動したい若者が直面する共通の問題は手頃な「居場所・たまり場」がないということ。YMCAが若者にたまり場を提供するようになれば、学生であれ若い社会人であれ、そこでサークル活動や学習会をするようになり、館内で世代の異なる会員や主事さんと出会う。そして月日とともにYが彼らの生活の一部になる。そんな図式を描いてみたくなる今日この頃です。「Yよ、もっと若者に目を向けよ」

### 〈小ニュース〉

- インタナショナル・ユース・コンボケーションに6人目のユースが加わります。小林大地君(早大1年生、東京サンライズ推薦)。
- 第5回オープンフォーラムYは6月18日(土)にオリンピック青少年センターで若者30名を集め、子供の貧困等をテーマに実施します。案内は4月中に発行します。



## 3月の新入会者紹介

☆山田公平さん(宇都宮) ☆荻野雄一さん ☆木澤裕司さん ☆小林正輝さん(以上東京ベイサイド) ☆光武洋さん(金沢八景)



第6代東日本区理事(2002-2003)を務められました、**小山正直様**(東京まちだクラブ)が、3月2日に亡くなられました。

永年に亘るワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。小山さんは、東日本区のクラブ毎の会員年齢構成を毎年纏められたことでも知られています。



### ● 連絡主事異動

4月1日から、東日本区の連絡主事として、田尻忠邦さんの後任として、光永尚生(みつながひさお)さん(日本YMCA同盟研究所所長)が就任しました。

### ● これからの予定

- ・5月21日(土):横浜つづきクラブ10周年記念例会(富士山YMCA)
- ・5月22日(土):(仮称)多摩新クラブ設立総会(コンテナー多摩センター)
- ・5月28日(土):(仮称)石巻広域クラブチャーターナイト
- ・5月29日(日):御殿場クラブ30周年記念例会(東山荘)
- ・6月4日(土):年次代議員会(長野市)
- ・6月4日(土)・5日(日):第19回東日本区大会(長野市)